

月刊

ひでかひ



5月26日にホテルローズガーデン新宿 別館 2F"卯月の間"にて「2019 新曲発表コンサート」が行われました。参加メンバーは美香・優里彩の二人。愛里彩ちゃんも来ていましたが、口内炎がひどくて見学とのこと。優里彩ちゃんも病み上がりらしい。2・3日間死ぬような体調不良だったとか。今日はアドレナリンが出ているのかバッチシとのこと。痛めていた足首が直ってきたところで二日前にぎっくり腰になったと美香さん。重いものを持ったわけでは無く、ゴミを拾おうとかがもうとしたところでピキッときたとか。気のせいだと思いたくて普通にしていたけれど、体制が変わると痛いそう。今日は振りを控えめに…と前振りをしていました(^;^)。新曲は先に置いといていろいろな SKI の名曲を歌いたいと、まずは『LAST SONG』『SOMETHING』を披露。「気合いを入れると背が高くなる」と優里彩ちゃん。『LAST SONG』を歌っていたユニット“ミッシェル”の諸岡なみ子さんも背が高かったけれど、みんな同じ制服をよく着れてたなあ…と振り返ります。「私は横にもでかいので…」と優里彩ちゃん。ふくよかな時期に入ったので制服がきつく、スカート問題があったとか。諸岡さんの歌声は可愛いけど格好良いと美香さん。フレーズの最後の息の入り方が好きだとか。「細かい、マニアック～」とツッコミが入ります。『SOMETHING』を歌っていた松田ゆかりさんの声も雰囲気も好きと優里彩ちゃん。独特の包容力があって暖かさを感じるそう。続いて『地球儀みつめ』を披露。本当は4人位で歌うのが良いと優里彩ちゃん。CDのコーラスが壮大とのこと。作っていて楽しかったと美香さん。コーラスは面白くてするのも好きとのこと。譜面で作ったりは出来ないけれど、誰かが歌っている3符下を歌ったりすると簡単にできるそう。最初はつられたりするけれど、長く続けていると完成度が上がって楽しかったとのこと。「『TESS』は相手が亡くなったってことですよ」と確認する優里彩ちゃん。「体験されたのか想像なのか…」と気になる様子です。作詞をするにはいろいろタイプがあるけれど、「私は限りある想像力を使って書いている」と美香さん。優里彩ちゃんも文章力あるからと、作詞を勧めます。現役の時は毎日のようにブログを更新していて、「暇だったんですかねえ…」と当時を振り返る優里彩ちゃん(^;^)。つつい長ったらしく書いてしまうとか。自由に書いて良いと言われると困るそうで、「テーマを決めると良い文章を書くと思う」とアドバイスを受けていました。続いて『パリの恋人』を披露。コーラスをやろうかなと、優里彩ちゃんのボーカルに合わせてコーラスを入れる美香さん。ぶつけ本番で綺麗な音色を奏でていました。雰囲気を変えて『Hart's Never Lie』をしつとりと歌い上げます。聞き惚れるお客さん、スタンディングオベーションで応えていました。『思い出は色エンピツで』は諸岡なみ子さんが作詞をした曲で、当時メンバーの寮があっけ一緒に泊まった時に、夜中までいろいろ説明してもらったそう。続いて『小さな生命』『輝く未来』を美香さんが熱唱。聴いていて「気持ちが洗われるようです」と優里彩ちゃん。『ミラクルワンダーランド』は前回一人で歌ったと美香さん。今度は二人でハーモニーを響かせます。『私らしく』は美香さんコールが炸裂。踊れないという不完全燃焼を払拭したようだ。



優里彩・美香・愛里彩

次にギター曲をやるので、準備の間は優里彩ちゃんが MC で繋ぎます。扁桃腺の風邪にかかって治ったと思って油断していたら喉が痛くなり、熱も出て身動きとれずにお休みをしていたとか。「見たとおりがりがりになりました…」と発言して「嘘です！」と自分で突っこみます。しゃべれないのがつらくて、ずっと筆談をしていたそうだ。「うがい手洗いをしっかりと、喉をお大事に…」と纏めて曲に行きます。先日遠藤ミチロウさんがお亡くなりになりましたが、以前『歌わずにはいられないツアー』が開催したときに一緒に東名阪をまわった思い出が残っていると美香さん。追悼の意を兼ねて『Just Like a Boy』を披露しました。気分を変えていよいよ新曲発表コーナーへ。先月に『新元号に寄せて』の短い Ver. を披露しましたがシャレの歌詞だったそうで、今回完成版を初披露。歌詞にいろんな“レイワ”が登場。「よくこれだけ揃えましたね」と美香さん。続いて『無実の実は』を披露。ラジオや TV で学者や評論家が出ていますが、一番使うフレーズが「実はね！」とのこと。SKiらしい新曲と美香さん。残り少なくなって、『心のフリーウェイ』で盛り上がります。「歌える方は一緒に」とのことで、壮大な合唱が起きました(^)。ラストソングは定番中の定番で『地球に愛を』。久しぶりに AG Ver. を堪能しました。ここで美香さんからお知らせが。最近のライブは美香さんと優里彩ちゃんまで歌ってきましたが、“マリアミカエル”というユニットでくることにしたとのこと。その記念を兼ねて、オマケで『時代はサーカスの象にのって』『My Generation』を披露。早速マリアコールが響きました。感想では、歌いたかった曲をたくさん歌えて嬉しいと優里彩ちゃん。歌詞が良い曲が多くて自分的にも満足だったそうだ。バラードが大好きで、新曲も違う雰囲気曲も届けられて嬉しかったと美香さん。腰が痛くてお辞儀が出来ないことが心残りのようでした。

同日に「青い空の下で LIVE」が行われました。『スカイブルーカー』でオープニング。続けてカーペンターズのカバー曲『見つめあう恋』を披露。この曲は SKi でもいろいろなバージョンがありますが、今回『Carpenters FOREVER』に収録されているバージョンを選択。美香さんも初めて歌うとそう。メンバー紹介ではマリアコールとミカエルコールが炸裂。前の公演に来ていない方には謎のコールと、新ユニット誕生の説明をしていました。ぎっくり腰については、くしゃみするだけでも痛いと言っていました。壁に捕まっていると力が逃げるとのことで、腰の弱い方におすすめしていました。『故郷を離るる歌』に続いて『カントリーロード』を披露。温かくなってお出かけする時にピッタリな曲と優里彩ちゃん。『さざ波』と『愛と勇気と思いやり』を披露して「初夏を感じていますか？」と振ってきます。すかさず「まだ梅雨も来ていないのに」と美香さんのツッコミが入ります。最近大きめな地震が起きましたが、携帯の緊急警報が鳴らなかったと優里彩ちゃん。マナーモードにしてたから？と頭を傾げます。大きな被害が無くて良かったと美香さん。「まったくの世間話でした」と次の曲へ(^;)。『わ・た・し』と『峠の我が家』という極端に違う曲調を続けて披露。ここで優里彩ちゃんが着ている T シャツのデザインに触れます。「メント・モリ」と入っていて、祖父が亡くなった時にその言葉に出逢って頭に残っていたとか。その時は悲しいけれど、日常で忘れちゃうから忘れないように覚えておこうと思ったそうだ。スタッフさんから「イラスト書いて」との話があって何気なく書いたら T シャツになっていたと美香さん。「私だけ脳天気…」と恥ずかしがっていましたが、“うさこ”は可愛いキャラクターなので良いと思います。

続いて『Fly me to the moon』『思い出の渚』を披露。小さい頃は海は怖いイメージがあったと優里彩ちゃん。クラゲに挿されまくったり身近に鮫がいてと思っていたそうだ。何時に行ったの？と気になる美香さん。お盆に入ると亡くなった人に引っ張られるので行かない方が良いと言われていたそうだ。美香さんも小さい頃にお留守番をしていた時に友達の母に誘われて海に行ったことがあり、「何故連絡しなかったの！」と怒られた記憶があるそうだ。外房の海は波が高く心配だったらしい。「あまり爽やかな思い出じゃないですね」と自分で突っこむ美香さん。『恋のメロディ』『キュンとする』と可愛い曲を続けて披露。この公演はトークを自粛して曲を多めにしていたと美香さん。エピソードを紹介すると長くなるからとのこと。それでも『いつか輝く』については熱く語り始めます。内容を書くとも長くなるので割愛させていただきます(笑)。続けて『恋の憂い』を披露。SKiの初期曲は羽毛田さん、入った頃は金田さんや勝山さんが作っていて、吉成さんの曲はまた違うプロジェクトで巾が出ていて面白いと美香さん。最後は吉成さんの曲で、これを歌わなければ終わらないと、公演タイトルになっている『青い空の下で』、そして『ボーイフレンド』を披露します。ここで「もう終わりに近づいてますね」と発言する優里彩ちゃん。「や、今のがラスト曲ですけど…」と慌てる美香さんでしたが、そのままオマケに突入します(^;)。二人とも体調不良だったので合わせていないと不安な中、『恋はハイウェイドライブ』を披露します。本当のラストは『口笛』で、「懐かしい曲で閉めました」と美香さん。もう少し頑張りたいと悔いが残るけれど、好きな曲を歌えて嬉しかったと優里彩ちゃん。病み上がりの優里彩ちゃんとぎっくり腰の私で中途半端な感じで不完全燃焼と美香さん。その分思いを込めて歌ったとのことでした。



優里彩・美香

ライブ終了後は恒例となった打ち上げ会が行われます。予定していた“三国一”は、日曜夜の営業を辞めてしまったとのことで、今回も放浪の旅で新宿アイランドタワーに向かいます。以前利用したことのある“CHINA DOLL”のネオンに誘われて～醍醐味とヤッター感はやっぱりコチラ～「ライブ後の打ち上げ」が始まりました。他のお客さんもいるのでテーブル毎に乾杯を行います。まずは打ち上げと言うことで、今月の反省をリサーチ。本番前に腰を痛めたことと美香さん。好きな曲の1つの『Hart's Never Lie』を歌えたことは良かったとのこと。歌詞を間違えないようにしたいと優里彩ちゃん。でも間違えていないように堂々と歌うところは才能です(^;)。『SOMETHING』を歌えたことが良かったとのこと。「最近ヤッター感を感じたこと」では、初物のスイカを食べたことと美香さん。凄く甘くて良かったとのこと。本を読んで泣いたと優里彩ちゃん。号泣では無いけれどほろ無きぐらいで、体の水分量が出るとか。感動する本に出会えて良かったとのこと。ちなみにこちらの本も表紙で選んだらしい(^;)。感想では、歌いたい曲がまだたくさんあって物足りないけれど、今日の反省を生かして次に頑張りたいと優里彩ちゃん。今日もいっぱい歌わせていただいてありがとうございますと美香さん。腰をしっかり治して6月のライブに備えて頑張りたいとのことでした。



美香・優里彩

今月のOG

5月にFCイベントに参加してくれた稲石清美ちゃんが、6月から恵比寿でランチ営業をスタートしたので行ってきました。その名も“恵比寿 お昼の Sanpine(サンピーヌ)”。普段は“究極のおひとりのみ処としてキャビアとおでん出汁割の晩酌バル”をキャッチフレーズにナイト営業をしていますが、11:30～15:00のランチタイムを委託されて、パンケーキとカレーのカフェとしてオープン。誰にも真似できない“究極のパンケーキ”を目指すとのこと。

JR 山手線・恵比寿駅を降りて東側へ向かい、恵比寿駅東口交差点のみずほ銀行の青い看板を見ながら恵比寿4丁目交差点へ向けて大通りを進みます。しばらくして左側に Sanpine が現れます。シマウマ?のモニュメントが目印です。もちろんメニューの看板も出ています。中へ入ると笑顔の清美ちゃんが迎えてくれました。まだオープン間もないということでメニューには“Coming Soon”がありますが、6月後半には順次品揃えするようです。この日は安定のバターチキンカレーをオーダー。ご飯が普通米と雑穀米から選べます。今回は健康食で脱穀米をお勧めされました。スープもセットになっていて、キヌアスープとミネストローネから選べます。ミネストローネは手作り粒マスタード入りでちょっと辛め、キヌアスープはコンソメベースであっさりめになっています。こちらも健康食でキヌアスープをお勧めされました。ドリンクもセットメニューでアイスティーかアイスコーヒーがお得になります。メインの座席はカウンターになっていて、目の前で清美ちゃんが調理しているところを拝見出来るサービスも付いています(笑)。BGMにJ-POPが掛かっていましたが、「アニソンもありますよ」と清美ちゃん(^^;)。お客さんの好みに合わせてくれるようです。美味しくバターチキンカレーを頂いたところで、「食後にデザートのパンケーキもありますよ」と清美ちゃん。商売上手です(^^)。甘い物は別腹とよく聞くので、せっかくなのでチャレンジ。カウンター越しにホイップメーカーをシャッフルしている姿は、カクテルを作っているようです。ちなみにランチ営業ですが、ビールやワインもメニューに揃えています。基本的に定休日の日曜日以外は営業していますが、清美ちゃんのスケジュールにより臨時休業があるとのことで、ホームページやinstagramを要チェックですね。また、7月には再びSKiとコラボして、カレーランチ会を企画している様です。こちらも楽しみです。すっかり長居してしまいましたが、最後も笑顔でお見送りしてくれました。



